

神戸市第三次サーバ仮想化基盤構築・運用業務

入札説明書

令和8年5月25日

神戸市企画調整局デジタル戦略部

目次

第1	調達の概要.....	1
1	件名及び数量.....	1
2	業務内容.....	1
3	契約期間.....	2
4	履行期間.....	2
5	履行場所.....	2
6	入札方法.....	2
7	契約に関する業務を担当する部局の名称及び所在地、契約条項を示す場所.....	3
第2	競争入札参加資格に関する事項.....	3
第3	入札参加資格審査申請の手続き.....	4
1	入札参加申込関係書類の配布.....	4
2	入札参加申込兼資格確認申請書等の提出.....	4
第4	入札参加資格・入札説明書等に関する質問及び回答.....	5
1	提出期限.....	5
2	提出方法.....	5
3	電子メールのタイトル.....	5
4	質問の提出先・問い合わせ先.....	5
5	回答の公表.....	5
第5	入札書・提案書等の提出.....	6
1	提出書類.....	6
2	入札書の記載内容.....	6
3	提出方法.....	6
4	入札保証金.....	7
5	入札の辞退.....	7
6	入札の無効.....	7
7	提案書作成要領.....	8
第6	提案内容説明会（プレゼンテーション及び質疑）.....	9
1	開催日時（予定）.....	9
2	開催場所.....	9
3	説明者.....	9
第7	提案書に関する質問の送付.....	9
第8	落札者の決定.....	9
1	開札の日時及び場所.....	9
2	開札に関する注意事項.....	10
3	落札者の決定方法.....	10
4	入札結果の公表.....	10
第9	契約手続き等.....	10
1	契約保証金.....	10
2	支払条件.....	10
3	契約書.....	11

第10	その他.....	11
1	応札費用及び提出書類の取り扱い	11
2	本市からの提示資料の取り扱い	11
3	苦情の申し立て.....	11

令和8年5月25日公告に係る「神戸市第三次サーバ仮想化基盤構築・運用業務」の入札等については、入札公告及び関係法令に定めるもののほか、この入札説明書等によるものとする。

なお、入札説明書等とは、この入札説明書と次の書類のすべてを指す。

- 1) 神戸市第三次サーバ仮想化基盤構築・運用業務仕様書（以下、「調達仕様書」という。）
- 2) 落札者決定基準
- 3) 提案評価項目
- 4) 秘密保持誓約書
- 5) 委託契約書案及び神戸市委託契約約款（以下、「委託契約書案」という。）
- 6) 神戸市情報セキュリティ基本方針（第5.8版）、同対策基準（第5.11版）及び情報セキュリティ遵守特記事項
- 7) 意見招請（RFC）質問回答
- 8) 入札参加申込兼資格確認申請書（様式1）
- 9) 委任状（様式2）
- 10) 共同事業体結成届出書（様式3）
- 11) 質問書（様式4）
- 12) 入札書（様式5）
- 13) 内訳書（様式6）
- 14) システム構成等記入様式（様式7）
- 15) 提案書記載項目対応表（様式8）

第1 調達の概要

1 件名及び数量

神戸市第三次サーバ仮想化基盤構築・運用業務 一式

2 業務内容

受託者が実施する業務の内容は次のとおりであり、詳細については調達仕様書を基本とする。

(1) 設計・構築業務

第三次サーバ仮想化基盤の構築に係る要件定義、基本設計、詳細設計、運用設計、移行設計、移設設計、環境構築、テスト等の設計構築業務を行う。

(2) 移行業務

現行の第二次サーバ仮想化基盤に搭載されている仮想マシンの第三次サーバ仮想化基盤への移行業務を行う。

(3) ハードウェア・ソフトウェア提供業務

① ハードウェア提供業務

第三次サーバ仮想化基盤の構築に必要なハードウェアを提供し、稼働期間中の予防保守、障害対応等を行う。主なハードウェアはサーバ、ストレージ、ネットワーク機

器等を想定している。なお、提供形態（賃貸借・サービス提供）は問わない。

② ソフトウェア提供業務

第三次サーバ仮想化基盤の構築に必要となるソフトウェアを提供し、稼働期間中の予防保守（バージョンアップ、修正プログラムの提供等）、障害対応等を行う。主なソフトウェアは仮想化ソフトウェア、OS、ミドルウェア等を想定している。なお、提供形態（購入・賃貸借・サービス提供）は問わないが、ソフトウェアライセンスについては、本業務の契約終了後も本市が継続して利用できるよう、本市を使用者名義とし、本契約の支払完了時に本市に使用許諾権を移転すること。ただし、本市がサブスクリプション形式のライセンスを指定したソフトウェア及び使用許諾権の移転が認められていないソフトウェアについては、使用許諾権の移転は不要とする。

(4) 運用・保守業務（移設・再構築支援を含む）

第三次サーバ仮想化基盤の稼働監視、障害対応、構成管理、セキュリティ管理、アカウント管理、データ管理等の運用保守業務を行う。また、現在物理サーバ等で運用しているシステムの本システムへ移設、及び仮想サーバで運用しているシステムのシステム更改時に、仮想サーバの払出し等の支援業務を行う。

3 契約期間

契約締結日から令和 15 年 3 月 31 日まで（債務負担行為に基づく複数年契約）

4 履行期間

(1) 設計・構築業務

契約締結日から令和 9 年 3 月 31 日まで。

(2) 移行業務

令和 9 年 4 月 1 日から令和 10 年 3 月 31 日まで

(3) ハードウェア・ソフトウェア提供業務

令和 9 年 4 月 1 日から令和 15 年 3 月 31 日まで（72 ヶ月間）

(4) 運用・保守業務（移設・再構築支援を含む）

令和 9 年 4 月 1 日から令和 15 年 3 月 31 日まで（72 ヶ月間）

5 履行場所

神戸市役所、落札者の事務所及び本市データセンター内。ただし、書類の納品は神戸市企画調整局デジタル戦略部とする。本市との打合せは市が指定する会議室等とする。

6 入札方法

地方自治法施行令第 167 条の 10 の 2 に定める総合評価一般競争入札により行うため、入札書及び提案書等（以下「入札書等」という。）を提出すること。入札書には、本委託業務に要する一切の諸経費を含めた**総価**を記載すること。

なお、落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に消費税及び地方消費税に相当する額を加算した金額（当該金額に 1 円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨

てるものとする。)をもって落札金額とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、契約希望金額から消費税及び地方消費税に相当する額を除いた金額を入札書に記載すること。

7 契約に関する業務を担当する部局の名称及び所在地、契約条項を示す場所

〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5番1号

神戸市企画調整局デジタル戦略部情報システム担当（神戸市役所1号館11階）

電話：078-322-5075 FAX：078-322-6199

E-mail：kasoukakiban@city.kobe.lg.jp

（E-mailアドレスは、◎を@に変更してください）

※ 以下、本資料において、神戸市企画調整局デジタル戦略部とあるのは、特に注釈がない場合、本項に記載の所在地及び連絡先等をあらわす。

第2 競争入札参加資格に関する事項

本入札に参加しようとする者は、次の各号に掲げる要件をすべて満たしている事業者であること。

- (1) 令和8年度及び令和9年度神戸市物品等競争入札参加資格を有すること。入札参加資格を有すると認定されていない者は、別途定める期日までに本市行財政局契約監理課に申請を行えば当該審査を受けることができる。詳細は、本市入札情報のページ (<https://www.city.kobe.lg.jp/a05182/business/contract/bid/index.html>) を参照のこと。
- (2) 入札参加資格確認申請の受付期間の最終日から落札決定の日までの間に、神戸市指名停止基準要綱（平成6年6月15日市長決定）に基づく指名停止を受けていないこと。
- (3) 経営状態が窮境にある者（会社更生法（平成14年法律第154号）の規定に基づく更生手続開始の決定がされている者、民事再生法（平成11年法律第225号）の規定に基づく再生計画認可の決定がされている者を除く。）でないこと。
- (4) 「神戸市 ICT ガバナンス・情報セキュリティ対策支援業務」を受託していない、若しくは受託している者と資本関係のないこと。
- (5) 単独で対象業務を行えない場合は、適正な業務を遂行できる共同事業体（対象業務を共同して行うことを目的として5社以内の民間事業者により構成される組織をいう。以下同じ。）として参加することができる。その場合、入札書類提出時までには共同事業体を構成し、代表者を決め、他の者は構成員として参加するものとする。なお、代表者は、本市に対して本業務の履行に係るすべての責任を負う。また、共同事業体の構成員は、上記(1)(2)(3)(4)の要件をすべて満たす必要がある。また、共同事業体の構成員は、他の共同体の構成員となり、又は、単独で参加することはできない。なお、共同事業体の代表者及び構成員は、共同事業体の結成に関する届出書を作成し、提出すること。
- (6) 業務の一部を再委託（再々委託を含む。）する場合は、提案書に再委託を行う業務の内容及び委託予定先を記載し、契約時に本市の承認を求めること。ただし、委託業務の全部又は大部分についての一括した再委託、及び三階層以上の再委託については認めない。なお、本市が再委託された業務について再委託先と直接契約を締結することや、再委託先からの請求の受理あるいは再委託先へ直接の支払いを行うことはない。

第3 入札参加資格審査申請の手続き

1 入札参加申込関係書類の配布

ア 配布期間

令和8年5月25日（月）から令和8年6月5日（金）まで（市役所開庁日の午前9時から午後4時まで（正午から午後1時までを除く。）。令和8年6月5日（金）は正午まで。）

イ 配布場所

神戸市企画調整局デジタル戦略部情報システム担当

ウ 秘密保持誓約書の提出

調達仕様書の一部には、本市情報資産のセキュリティ事項等が含まれるため、関係書類の配布を希望する者は、秘密保持誓約書を提出しなければならない。

2 入札参加申込兼資格確認申請書等の提出

本入札に参加しようとする者は、次により入札参加申込及び入札参加資格の確認申請を行わなければならない。

ア 受付期間

令和8年5月25日（月）から令和8年6月15日（月）まで（市役所開庁日の午前9時から午後4時まで（正午から午後1時までを除く。）。令和8年6月15日（月）は正午まで。）

イ 受付場所

神戸市企画調整局デジタル戦略部情報システム担当

ウ 提出方法

受付場所へ持参又は郵送・宅配。郵送・宅配の場合は事前に担当課に電話連絡のうえ、送付記録が残る方法にて期限までに必着のこと。

エ 提出書類（各1部）

入札に参加しようとするものは次の書類を提出し、必要な資格の審査を受けなければならない。申請書類はすべて日本語である必要はあるが、外国法人の場合、これらに相当するものの正本（外国語のままでも可）に、日本語訳添付で可とする。

① 入札参加申込兼資格確認申請書（様式1）

② 神戸市物品等競争入札参加資格認定通知書の写し

※ 電子入札用ID及びパスワードについては、見えないよう加工すること。

③ 委任状（代表者又は登録済の受任者以外の者が申請する場合のみ）（様式2）

④ 会社概要 任意様式

⑤ 共同事業体での参加を希望する者は、共同事業体結成届出書（様式3）

※ 共同事業体で参加を希望する場合は、①③の書類は代表事業者について、②

④⑤の書類は構成事業者すべてについて提出すること。

オ 入札参加資格の審査及び通知

① 入札参加資格は提出された書類により審査し、その結果は令和8年6月22日（月）

までに入札参加資格審査通知書により通知する。なお、神戸市物品等競争入札参加資格の審査申請を新たに行う者については、神戸市物品等競争入札参加資格認定通知書の写しが提出され次第、速やかに通知する。

- ② 入札参加資格がないと認定された者には、①の通知書にその理由を付す。
- ③ ②の理由を付した①の通知書により通知を受けた者は、その通知を受けた日から7日以内に、書面（任意様式）により入札参加資格がないと認定した理由の説明を求めることができる。
- ④ ③による理由の説明の請求を受けたときは、その通知を受けた日から7日以内に書面により回答する。

カ 入札参加資格の喪失

入札参加資格の審査結果の通知後、入札参加資格を有することの確認を受けた者が次のいずれかに該当するときは、当該入札への参加を認めない。

- ① 開札日において、入札参加資格の要件を満たさなくなったとき。
- ② 提出書類に虚偽の記載をしたとき。

第4 入札参加資格・入札説明書等に関する質問及び回答

入札説明書・調達仕様書等の内容に関する質問がある場合は、以下の要領にて質問書を提出すること。

1 提出期限

- ア 入札参加資格及び入札説明書（落札者決定基準に関するものを除く）に関する質問
令和8年6月5日（金）正午まで
- イ 調達仕様書及び落札者決定基準等に関する質問
令和8年6月15日（月）正午まで

2 提出方法

質問書（様式4）に記入して、電子メールにて提出すること。また、到着確認の電話連絡を行うこと。（市役所開庁日の午前9時から午後4時まで（正午から午後1時までを除く。））

3 電子メールのタイトル

- ア 入札参加資格、入札説明書に関する質問は「神戸市第三次サーバ仮想化基盤構築・運用業務（資格・説明書）【事業者名】」とすること。
- イ 調達仕様書、落札者決定基準等に関する質問は「神戸市第三次サーバ仮想化基盤構築・運用業務（仕様書等）【事業者名】」とすること。

4 質問の提出先・問い合わせ先

神戸市企画調整局デジタル戦略部情報システム担当

5 回答の公表

質問に対する回答方法として、入札参加資格及び入札説明書（落札者決定基準に関する

ことを除く)に関する質問については、令和8年6月12日(金)までに随時回答を行うものとする。また、調達仕様書及び落札者決定基準等に関する質問については、令和8年6月30日(水)までに、入札参加資格申請を行った事業者に対し、質問提出期間内に受領した全ての質問内容及び回答を電子メールにて送信するものとする。

なお、質問した事業者名は公表しない。また、入札参加資格等に関する質問については、原則として公表しないものとする。

第5 入札書・提案書等の提出

1 提出書類

ア 入札書(様式5) 代表者又は受任者が記名押印した原本1部を封筒に入れ、次項イに示す内訳書の原本1部と併せて封緘すること。封筒は任意のものを使用し、宛名「神戸市長」、入札件名「神戸市第三次サーバ仮想化基盤構築・運用業務」及び入札参加者名を記入すること。

※入札金額の上限は2,721,496千円、うち令和8年度に係る費用の上限金額は1,468,140千円とする。いずれの上限金額も消費税及び地方消費税相当額を除く。

イ 内訳書(様式6) 原本1部を入札書と併せて封筒に入れ封緘すること。

ウ 提案書 2部(正本1部、副本1部)

エ システム構成等記入様式(様式7) 2部(正本1部、副本1部)

オ 提案書記載項目対応表(様式8) 2部(正本1部、副本1部)

カ ウ、エ、オの電子データ(電子メール送付可。電磁的記録媒体の場合は、正副2部)

2 入札書の記載内容

本業務の履行に要する総額を記載すること。なお、別途定める様式に以下の内訳額を記載すること。

- ① 設計・構築業務に要する費用
- ② 移行業務に要する費用
- ③-1 ハードウェア提供業務に要する費用
- ③-2 ソフトウェア提供業務に要する費用のうち、ライセンス取得費用
- ③-3 ソフトウェア提供業務に要する費用のうち、保守・サポート費用
- ③-4 ソフトウェア提供業務に要する費用のうち、サブスクリプション費用
- ④ 運用・保守業務(移設・再構築支援を含む)に要する費用

3 提出方法

ア 持参の場合

① 提出日時

令和8年6月23日(火)から令和8年7月6日(月)まで(市役所開庁日の午前9時から午後4時まで(正午から午後1時までを除く。))。令和8年7月6日(月)は正午まで。

事前に担当課に電話連絡のうえ持参すること。

② 提出場所

神戸市企画調整局デジタル戦略部情報システム担当

イ 郵送の場合

① 提出期限

令和8年7月6日（月）正午までに、本市（本庁舎）に到着する文書の直接窓口である行財政局業務改革課（文書係）に到着していること。事前に担当課に電話連絡のうえ、書留郵便で送付すること。

② 提出場所

神戸市企画調整局デジタル戦略部情報システム担当

4 入札保証金

神戸市契約規則第7条第2号に基づき、入札保証金は免除とする。

5 入札の辞退

入札参加資格の審査結果の通知後、入札参加資格を有することの確認を受けた者が入札を辞退する場合は、入札辞退届（任意様式）を市に提出すること。

なお、入札を辞退した者が、これを理由として以後の競争入札において、不利益な取扱いを受けるものではない。

ア 提出期限

令和8年6月26日（金）正午まで

イ 提出場所

神戸市企画調整局デジタル戦略部情報システム担当

ウ 提出方法

持参又は郵送（郵送の場合は、事前に担当課に電話連絡のうえ、書留郵便で送付すること。）

6 入札の無効

次のいずれかに該当する入札は無効とする。

ア 入札書及び提案書等の必要書類が所定の日時を過ぎて到着したとき。

イ 入札書の金額その他主要な事項の記載が確認し難いとき。

ウ 入札書に記名及び押印がないとき。

エ 一つの入札に対して2通以上の入札書を提出したとき。

オ 代理人による入札の場合において、委任状を提出しないとき。

カ 入札者及びその代理人が他の入札代理人となり、又は数人共同して入札したとき。

キ 入札参加資格がない者が入札したとき。

ク 本市が指定した様式以外の入札書により入札したとき。

ケ 鉛筆、シャープペンシル、消せるボールペンその他訂正の容易な筆記具により入札書に記入したとき。

コ 入札書の金額を訂正した場合において訂正印の押印がないとき。

- サ 前各号に掲げるもののほか、特に指定した事項に違反したとき。
- なお、本市により入札に参加する者に必要な資格があることを確認された者であっても、落札者の決定から契約締結までの間において神戸市指名停止基準要綱に基づく指名停止措置若しくは取引停止取扱要領に基づく取引停止等措置を受けている者等、第2項第1号に掲げる資格のない者に該当した入札は無効とする。その場合、予定価格の範囲内で定量化審査における「総合評価点」の得点の高い者から順に契約交渉を行うことがある（地方自治法施行令第167条の2に基づく随意契約）。

7 提案書作成要領

- ア 調達仕様書に示す本市の要求事項に対し、提案評価項目に示す各項目の記載内容に基づき、項目順に漏れなく提案書（任意様式）に記載すること。なお、提案書にはページ番号を記載し、提案書記載項目対応表（様式8）には各項目の記載ページ（開始～終了）を記載すること。
- イ 調達仕様書に示す本市の要求事項に固執することなく、提案者の知識と経験を活用して、留意事項や指摘点を示すなど、本業務が最大限の成果を上げるための提案を行うこと。
- ウ 各項目の記載内容について、調達仕様書に示す要求事項を上回る内容を提案する場合は、そのポイントが明確に分かるように記載すること。また、本市の要求事項と相違する内容を提案する場合は、理由を付したうえで、その相違点が明確に分かるように記載すること。
- エ 調達仕様書に記載されていない項目で、追加の提案を行う場合は、提案書の最後に「追加提案」として記載すること。なお、提案内容により、追加提案としてではなく既設項目に含めて評価することがある。
- オ 本市の委託契約約款について、原則として変更は受け入れられないが、条項の付加及び除外の必要がある場合には、提案書の最後に「委託契約約款の変更」として、変更案の内容を明示すること。但し、あくまで事業者案の位置づけであり、本市が変更可否を検討する。
- カ 提案書のページ数は、1部につき150ページまでとする。表紙及び目次はページ数に含めない。用紙サイズはA4（縦横不問）とし、提案書と提案書記載項目対応表とをあわせて、2穴とじフラットファイルに綴じること。（ページ数の下限は、設けない。）
- キ 提案書の説明は、専門用語を多用していない等、分かりやすさ、読みやすさに努めること。提案評価項目の項目順になっていない場合などを含め、分かりにくい提案書は評価できないことがある。
- ク 提案書（副本）は、表紙や目次のほか、本文中や各ページのヘッダー・フッターにも社名及び社名を類推させるロゴ等を一切記載しないこと。別途正本として社名入りの表紙を付けたものを一部提出すること。

第6 提案内容説明会（プレゼンテーション及び質疑）

提案書だけではわかりにくい部分を補足するため、提案内容説明会（以下、「説明会」という。）を実施する。説明会は非公開とし、本市職員及び本市が提案評価の技術支援を委託しているコンサルティング事業者が参加する予定である。内容は、提案書に関する質疑を行う予定である。

この説明会は、提案内容について書面だけではわかりにくい部分を補足するために行うものであって、提出済みの提案書に新たな要素を追加、修正することは認めない。また、入札参加者からの質問も認めない。説明を円滑に行うための資料の配布は認めるが、提案書と異なり評価時の正式書類としては扱わない。

なお、説明会に係る費用は、すべて入札参加者の負担とする。また、説明会を辞退することは可能で、辞退したことで失格になることはないが、説明不足等、評価上の不利益を受けることがある。

1 開催日時(予定)

令和8年7月17日（金）の午後、本市が指定する日時

2 開催場所

神戸市役所又はその付近

3 説明者

説明については、実際にプロジェクトに携わる者（プロジェクトリーダー及び主たるプロジェクトメンバー）が出席した上で実施すること。

開催時間、開催場所、機材の使用可否、参加人数の制限及び時間制限等の詳細については、別途通知する。

第7 提案書に関する質問の送付

提案内容について分かりにくい部分を補足するため、本市から提案書に関する質問を送付する。令和8年7月13日（月）までに書面により送付するので、令和8年7月16日（木）までに回答を行うこと。

本市からの質問に対し、回答期日までに提出しないことで失格になることはないが、説明不足等、評価上の不利益を受けることがある。なお、質問への回答書については、提案書と同様に正式な書類として取り扱うので留意すること。

第8 落札者の決定

1 開札の日時及び場所

ア 開札日時

令和8年7月24日（金）午後2時

イ 開札場所

神戸市企画調整局デジタル戦略部 研修室（神戸市役所1号館11階）

2 開札に関する注意事項

- ア 開札場には、入札者又はその代理人並びに開札の執行者及び開札の執行立会人以外の者は入場することができない。
- イ 開札場に入場する入札者又はその代理人は、一入札者当たり2人以内にする。
- ウ 開札に立ち会わない場合は、その旨事前に電話連絡すること。
- エ 入札者又はその代理人は、開札開始時刻後においては、開札場に入場することができない。
- オ 入札者又はその代理人が開札場に入場しようとするとき、身分証明書の提示を求められる場合がある。また、代理人を入場させる場合においては、開札の立会いに関する委任状（任意様式）を提出しなければならない。
- カ 入札者又はその代理人は、当該入札に参加した他の入札者の代理人となることはできない。
- キ 入札者又はその代理人は、市が特にやむを得ない事情があると認めた場合以外は、開札終了まで開札場を退場することはできない。

3 落札者の決定方法

別添落札者決定基準による。

4 入札結果の公表

入札結果(入札者の名称、総合評価点数)は本市のホームページにおいて公表する。

第9 契約手続き等

1 契約保証金

契約金額の10パーセント以上を納付しなければならない。ただし、神戸市契約規則第25条の規定により保険会社と契約保証金と同額以上を保証金額とする履行保証保険契約を締結する場合は、当該保証を証する書面の提出をもって代えることができる。また、過去5年間において、神戸市指名停止基準要綱に基づく指名停止措置を受けておらず、かつ、本市との間に過去2か年の間に単件で10億円以上の契約の実績があり、その契約すべてが適正に履行されている場合は契約保証金を免除する。なお、納付された契約保証金は、本業務の最後の履行確認後、支払を行う際に返還する。

2 支払条件

- ア 契約の形態は業務委託契約とし、複数契約への分割は認めない。
- イ 設計・構築業務に係る費用については、令和9年3月末の業務完了後に検収を行ったうえ、一括で支払うものとする。移行業務に係る費用については、令和10年3月末の業務完了後に検収を行ったうえ、一括で支払うものとする。ハードウェア・ソフトウェア提供業務、運用・保守業務については、各年度末に検収を行ったうえ、総額を6で除した額を支払うものとする。ただし、ハードウェア・ソフトウェア提

供業務のうち、初期費用として令和9年度に支払いが必要なものは、設計・構築業務の費用に含めること。

- ウ 調達仕様書の内容に基づき、目標保証型の SLA を締結する。各年度末の検収時に SLA の達成度を評価し、未達成の場合は当年度の支払予定額から減額基準に基づき減額を行う。また、契約上の損害賠償は SLA のペナルティとは別途請求できるものとする。

3 契約書

委託契約書案のとおりとする。

第10 その他

1 応札費用及び提出書類の取り扱い

ア 当該入札の応募のためにかかる費用は、応札者の負担とする。

イ 提出された書類は、当該入札の終了後も返還しない（但し、期限までに入札辞退届が提出された場合は、提案書・入札書は返却する。）。また、本市は、これらの書類を神戸市情報公開条例に基づき、同条例で非公開とされるものを除き、公開することがある。

ウ 本市は提出書類を、当該入札以外の目的で、入札参加者に無断で使用しない。

エ 本市が指示する場合を除き、提出書類の変更、差し替え若しくは再提出は認めない。

オ 提案書の著作権は入札参加者に帰属する。提案内容に含まれる特許権、実用新案権、意匠権、商標権その他日本国の法令に基づいて保護される第三者の利権の対象となっているものを使用した結果生じた責任については、入札参加者が負うものとする。

2 本市からの提示資料の取り扱い

本市が提供する資料は、当該入札の参加に係る検討以外の目的で使用することはできない。

3 苦情の申し立て

当該入札について苦情のある者は、神戸市特定調達調査委員会（連絡先：神戸市行財政局契約監理課 電話 078-322-5146）に対して、苦情を申し立てることができる。